▽災害に備えたまちづくり

大雨対策 3カ年事業の 2年目として、小糸魚川や小泉の沢川の改修を進めるほか、川沿町雨水幹線の増強や公園に一時貯水機能を持たせる改良を行います。また、地震対策として、上下水道施設の耐震化や緊急貯水槽の整備を進めます。さらに、災害対応の迅速化と情報発信の強化として、防災対策システムを構築します。

▽ふくし大作戦!!2016

柔軟な発想と創意工夫により、ふくしの担い手育成やふくしのネットワーキングづくりをコンセプトとした事業を進めます。市役所全体の連携はもとより、関係団体との協働や市民との対話を重ね、地域の絆づくりに努め、ふくしの輪を全市的に広げます。

▽つなごう スポーツ大作戦

スポーツは、生活の楽しみや生きがいとなるほか、青少年育成や地域コミュニティ形成、健康増進など、さまざまな役割を果たしています。このようなスポーツの力を広く発信し、豊かで明るい活力あるまちづくりを進めるため、スポーツを「する人、観る人、支える人」の観点から事業を実施します。

▽教育行政

教育大綱に基づき、教育委員会との連携を強化し、伸び伸びと教育を受けられる学習環境をつくり上げます。また、ウトナイ地区に新設する第16中学校の基本設計を行うほか、全教職員へ校務用パソコンを配備します。さらに、

新たな文化芸術振興推進計画に基づき、文化芸術に触れる機会を拡充します。

▽子ども・子育て支援

私立幼稚園の新制度移行と認定こども園の普及を促進するとともに、子育て世代包括支援センターを開設します。また、やまて保育園の民間移譲を進めるほか、保育現場の人材確保と負担軽減を図ります。さらに、放課後児童クラブの土曜開室も含む時間延長やこども研修事業を実施します。

▽広域連携

北海道新幹線×Ebitan^{ニッタン}地域戦略会議では、胆振日高地域のプロモーションに取り組みます。また、東胆振定住自立圏では、共生ビジョンに基づき、圏域の活性化に向け取り組みます。

主 要 施 策

▽健やかで安心・安全に暮らすまち

ひとり親家庭の支援は、新たにひとり

り親家庭等日常生活支援事業を実施します。

障がい者福祉および健康関連事業は、旧道立病院に福祉ふれあいセンターや呼吸器内科クリニックを設置します。

市立病院は、地域包括ケア病棟の開設などにより、東胆振・日高圏の中核病院としての機能向上に努めます。消防は、消防防災訓練センターを整備するほか、救急資格者や救急救命士を養成し、救急体制を強化します。

▽活力ある産業と賑わいのまち

新千歳空港は、北海道との連携を図り、24時間運用の拡大に伴う住宅防音対策や地域振興対策を進めます。千歳基地での日米共同訓練は、市民への情報提供に努め、市民の安心・安全を確保します。

苫小牧港は、岸壁の改良工事を進めるほか、国際コンテナターミナルの機能強化を図ります。中小企業振興は、中小企業実態調査を実施するほか、中小企業振興条例に基づき、創業や人材育成を支援します。

▽自然と環境にやさしいまち

環境保全は、大気汚染や航空機騒音の常時監視を行うほか、新・省エネルギー普及支援事業などを実施しま

す。

ごみ行政は、ごみ減量とリサイクルを推進するほか、ふくしのまちづくりに向けて戸別収集を試行します。

▽快適空間に生活するまち

証明書発行は、コンビニ交付に向けた準備を進めるほか、とまきゅんご当地届出事業を実施します。上下水道は、施設などの老朽化対策を行うほか、沼ノ端中継ポンプ場の増設工事に着手します。

道路は、三条通線片側 2車線化の完成を目指すほか、苫小牧中央インターチェンジの設置と緑跨線橋の架け替えの早期実現を目指します。

(仮称)市民ホールは、基本計画の策定に着手し、施設の規模や機能などを検討します。

▽手をこまぎ歩む誇りが持てるまち

地域活動の支援は、豊川コミュニティセンターの大規模改修を実施するほか、町内会館の整備などに対し助成を行います。

男女平等参画は、日本女性会議開催の準備を進めるほか、男女平等参画都市宣言の理念の普及を図ります。

国際交流は、姉妹・友好都市との交流が市民や民間団体に幅広く発展するよう取り組みます。